

# 大崎耕土を 「世界農業遺産」へ

大崎地域1市4町(大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)と宮城県や農業関係団体、NPO法人などで構成する大崎地域世界農業遺産推進協議会が申請した『大崎耕土』の巧みな水管理による

水田農業システムが、世界農業遺産認定申請の国内審査を通過し、併せて日本農業遺産に認定されました。その日本農業遺産認定証授与式が、4月19日、農林水産省で行われました。この日本農業遺産は、平成28年度新たに創設された認定制度であり、全国19地区の応募に対し、8地区が認定され、大崎地域は東北地方で唯一の認定地域となりました。

様々な生きものが生息できる環境をもたらし、環境を担う「契約講」という古くからの社会システムが残されていることなど、わたしたちの先人が長い年月をかけて築き、継承してきた水田農業の営みが、わが国はもとより世界的にも重要であるとの評価を得ました。

今後は、国連食糧農業機関(FAO、本部イタリア)が認定する世界農業遺産への申請に向けた申請書の精査や英訳化などを行います。また、次世代への継承プログラム

の作成  
○市民向け勉強会の開催  
○屋敷林「居久根」保全などの農業システム継承に向けたプランづくり  
○環境保全米など自然共生型農業の推進や生きもの調査の普及

○六次産業化の推進  
○農業遺産資源を活かしたツーリズムの実施  
などを軸に、認定を契機として、大崎地域の豊かな農業システムを未来に継承していくための保全活動や、地域振興策を進めていく具体的なプランづくりを進めていきます。

内審査では、大崎地域の農業システムに対して、  
○冷害・洪水・渇水という農業上の厳しい自然条件を、地域の人々の知恵と工夫で克服してきたこと  
○水田や水路、屋敷林「居久根」が独特の景観を作り出し、

## 先人から受け継いだ 知恵と生きものとの共生

特定非営利活動法人 蕪栗ぬまっくらぶ 事務局長

高橋 のぞみ さん



大崎耕土に暮らすわたしたちの周辺には、世界中から飛来する渡り鳥や、それを見守る豊かな自然が、暮らしの一部として当たり前存在しています。今回、日本農業遺産認定を受け、大崎耕土の自然と共生する農業がこれまでに増して評価されたと感じています。

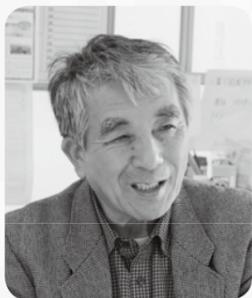
農業遺産の申請に向けて、大崎地域全域で開催された勉強会や周知活動に参加し、蕪栗沼周辺の生物多様性、特徴を伝えると同時に、わたし自身も大崎耕土についての学びを深めてきました。生物多様性や伝統文化など、中には以前からなじみ深いものもありましたが、大崎耕土全域に目を向けると、奥羽山脈から湧き出た水が、山から川、田んぼ、沼を巡ることがきっかけで、水田農業や生物多様性、文化が各地で育まれたと改めて実感し、一つひとつの分野がつながっていることに感動がありました。

今後、遺産として語り継いでいく大崎耕土の生物多様性を、次世代へつなぐ取り組みも欠かせません。地域で育った子どもたちが、農業遺産に認定されたこの地を誇りに思う日が来てくれたらうれしいです。

全国エコファーマーネットワーク幹事(前会長)

みどりの農業協同組合理事

佐々木 陽悦 さん



日本農業遺産の認定を受け、ほっとしていると同時に、地域の農業者としての責任と、認定に値する地域を作っていかなければならないと感じています。

わたしは、20年以上前から水田の生きもの調査を行い、環境保全型農業を推進してきました。大崎耕土、特に田尻地区では古くから奥羽山脈から流れる水を活かした稲作が営まれ、環境配慮への意識が高いところでもあります。今後の要となるのは、これまで培ってきた農業技術や歴史、伝統文化をどのように引き継いでいくか。これまでの営みをレベルアップさせ、持続させていくことの工夫と実践が必要です。

また、認定によって世界へ技術や文化を普及させるだけではなく、違う国や地域の伝統技術、文化を互いに認知し評価し合うことが大切だと考えています。そのうえで、認定を地域住民が理解し、価値として認めた上で、どのように営農していくかが課題になるとも思います。

消費者が米や野菜を買い、農業者が田んぼや畑を管理し自然と共生することで、環境は守られていきます。農業技術、文化がこれからも持続していくため、苦労はありますが、たゆまぬ努力を重ねていきたいと思っています。



▲冷害に適応する知恵「ぬるめ水路」(大崎市)



▲豊穡を祈る伝統的な農耕儀礼「御弓神事」(涌谷町)



▲生物多様性が豊かに育まれた屋敷林「居久根」(大崎市)

## 大崎耕土を潤す 巧みな水管理システム

# 日本農業遺産認定

# そして、世界へ

日本農業遺産認定地域  
(平成29年4月現在)

- 1 宮城県大崎地域  
「大崎耕土」の巧みな水管理による水田農業システム
- 2 埼玉県武蔵野地域  
「武蔵野の落ち葉堆肥農法」
- 3 山梨県峡東地域  
「盆地に適応した山梨の複合的果樹システム」
- 4 静岡県わさび栽培地域  
「静岡水わさびの伝統栽培(発祥の地が伝える人とわさびの歴史)」
- 5 新潟県中越地域  
「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」
- 6 三重県鳥羽・志摩地域  
「鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業—持続的漁業を実現する里海システム—」
- 7 三重県尾鷲市、紀北町  
「急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業」
- 8 徳島県にし阿波地域  
「にし阿波の傾斜地農耕システム」

